

平取町地域公共交通活性化協議会

平成21年2月26日設置
平成22年3月16日連携計画策定



概要

平取町は、人口5,729人の過疎地域であり、小中高校生の通学、高齢者の通院・買い物等住民生活に不可欠な交通手段は、路線バス、町営バス、スクールバス等に依存している。しかし、年々、利用者も減少しており、町営バスを含めた生活路線バス維持のための負担金やスクールバスの運行委託経費等が財政を圧迫する要因ともなっていることからデマンドバスの導入、町営バス・路線バスの見直し、商工会・温泉施設との連携、公共交通の利用促進等により、高齢者等に配慮した公共交通体系の構築を図る。

○デマンドバスの導入(22年度～)

・路線バス利用困難な住民を対象に移動手段を確保するため、22年度より本町地区においてデマンドバスの実証運行、振内地区では試験運行を行う。

○町営バス・路線バスの見直し(22年度～)

・利用率の低い貫気別～芽生線、貫気別～旭線の町営バスをデマンド方式に変更し、利用促進を図る。
・路線バスのダイヤが利用者ニーズに応じたものになっていないため、効率的なバス運行の検討を行う。

○商工会・温泉施設との連携(22年度～)

・商工会、びらとり温泉との連携により、バス利用者に対し、クーポン等発行の検討を行う。

○公共交通の利用促進(22年度～)

・パンフレット・チラシ・ポスター等を作成し、住民に対し周知を行う。
・住民意見交換会等を実施し、バス利用促進を図る。

